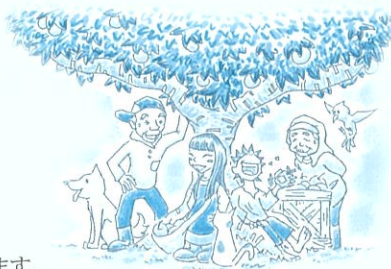


2024.9月 188号

ずーっといっしょ

松川町社協だより

※社協だよりはみなさまから頂いている会費で発行しています。



発行
社会福祉法人
松川町社会福祉協議会
〒399-3303
長野県下伊那郡松川町
元大島2930-12
電話(0265)36-3778
FAX(0265)34-1062
印刷所
ユニプリント㈱

<http://www.matsukawa-shakyo.net>



この日の夕方、早速わらじ脱ぎ!!
再びカラオケで盛り上がるそうです♪

ずーっといっしょ 町で見つけた“ずーっといっしょ”

バス遠足 上伊那方面へ
‘榎原がんばりたい’の皆さん

養命酒工場見学に始まり、箕輪町の無量寺、箕輪ダムを回ります。メインは美空ひばり歌の里。カラオケルームで昼食と小宴会を楽しまれるとのこと。出発前の一枚です。

わたしの宝物

私の宝物は、元読売ジャイアンツの松田清選手からもらった扇子です。

私はジャイアンツの大ファンで、20代の頃、何人かの選手にファンレターを送っていました。そのファンレターにお返しをくれたのは松田選手だけ。扇子の他にハンカチやお裁縫箱を贈ってくれたこともあり、松田選手本人には球場で会ったこともあります。70年も前のものですが、今でも大切にしています。

城
矢澤 世知子さん(91歳)



バレエ・スケート・ソフトボール...
色んなスポーツに挑戦されてきたそう
「70代まで庭木の剪定もやってきたんですよ」

目次

- ①ずーっといっしょりレー／私の宝物
- ②赤い羽根
- ③赤十字奉仕団だより／コミカフェ
- ④夏休み小学生ぶちボランティア
- ⑤夏休み小学生ぶちボランティア
- ⑥希望の旅参加者募集
- ⑦福祉懇談会／ラジオ体操カード
- ⑧ありがとうコーナー／行事予定／赤い羽根／ちおんば 他

10月1日より始まります。
赤い羽根共同募金

皆さまより 大切な募金を毎年いただき
 心より感謝申し上げます。
 ……ありがとうございます……

 赤い羽根共同募金の羽根が赤いわけ

アメリカの原住民族が頭につけていた様々な色の羽根飾りにならったと言われてい
 ます。赤色は「勇気のある行い」や「良いことをした」人がつけていたそうです。

Q. 共同募金は何に使われているの？

A. 県内や町内で、子どもたち・高齢者・障
 がい者などを支えるさまざまな福祉活
 動や災害時の支援に役立てられます。
 町内で行われている事業の内容は、別紙
 をご覧ください。

Q. どうして共同募金をするの？

A. 私たちの住む町には、お年寄りや障
 がいのある人、子育て中の人など暮らして
 いくのに助けが必要な人たちがいます。
 そんな方たちのために、いろいろな団体が
 活動しています。活動に必要なお金を
 一人で出すのは大変だけど、みんなでき
 たら少しずつ寄付すれば集まったお金でた
 くさんの人が活動に関わることができます。

**Q. どうして私の町では、
 目安額が高いのですか？**

A. 募金は、私たちの住む地域の中で住民
 の皆さんの福祉を向上させるための資金
 になります。目安額が高いということは、そ
 れだけ『地域福祉活動』を積極的に進
 めるための事業や団体の活動が活発に
 行われているということになります。

**Q. 任意のはずの募金に、
 なぜ目安額があるの？**

A. 共同募金は、寄付金が集まってから使
 いみろを決める募金ではなく、地域福祉
 推進のために必要な額(目標額)を決めて
 行う計画募金です。そこで、目標額と世帯
 数の関係から、1世帯の目安額を決めさせ
 ていただいております。ただ、この額はあく
 までも目安であり、決して割当額ではありま
 せん。



募金の行方 (ゆくえ)



赤十字奉仕団だより



赤十字奉仕団委員長 田村多恵子

今年度は、コロナ禍も収まってきたということで、以前の活動が再開されました。赤十字奉仕団の活動は歴史あるものが多く、多岐にわたるので、他団体の皆様に支えて頂きながら、団員の皆様と協力し合いながら活動を続けているところです。

6月には、北部ブロック(大鹿、喬木、豊丘、松川)の研修会が松川町で開催され、赤十字医療救護班として能登へ出動された山下圭一氏より『能登半島地震発災1ヶ月後の救援活動の報告』と題して講演して頂きました。会場となったえみりあホールには、町内外から多くの団員の方々が集まってくださり被災地の現状を知ると共に、防災や備えについて改めて考える機会となりました。8月にはAED講習会が行われました。また、10月20日(日)のふれあい広場では、手軽に手に入る「アイラップ」という袋を使って非常食を作る予定です。うまくできるように頑張りますので、ぜひ立ち寄ってみてください。



【AED講習会の様子】

コミカフェ

行ってみたらば

『よろず講演 楽しく体操』 R6.7.31(水)

～編集委員がおじゃましてきました～

第5回

「何にもしなくても汗が出る～」暑い日が続く中ですが、この日は涼しい会場で笑って体を動かしました。

この日の講師は多目的スタジオ 泰平の宮下泰広さん。“笑うことで脳を鍛えよう”と、参加者の皆さんと一緒に笑えるお話、体操で楽しみました。「皆さんが笑えるのは、楽しい・おもしろいということを理解できているから。笑うことで脳を鍛え、認知症を予防できるんです」宮下さんからそんなお話もあり、皆さんでめいっぱい笑い合いました。「お腹がよじれるほど笑ったのは久しぶり!」「声を出して笑えた」と皆さん嬉しそうなお顔。みんなであらゆる一体感が心地よかったです。



＝コミュニティ・カフェ＝

●場所 上片桐地区公民館 ●時間 月曜日～金曜日

●対象者 65歳以上で介護認定を受けていない方

●利用料 1回500円(送迎代込、昼食代別)

◎お申し込み、お問い合わせ

・役場包括支援センター ☎ 36-6800

・コミュニティ・カフェ ☎ 37-3489

夏休み小学生ボランティア

ぷち

各地のお祭りがにぎやかに復活!!子どもさん達、楽しい夏休みを過ごしたことと思います。このお休みに、ボランティア体験に挑戦してくれた生徒さん達がいいます。複数ある体験メニューの中から、自分が希望するメニューを選んで体験。今回は、「社協だより記者体験」を選んでくれた生徒さんに、「ボランティア横づな」と「配食サービス」の取材、撮影、記事作りを手伝ってもらいました。



【小学生記者】



松川中央
小学校
3年2組
宮澤 咲帆



松川中央
小学校
4年3組
小野 未桜



松川中央
小学校
6年1組
鎌倉 光里

ボランティア横づな

「住み慣れた家で少しでも長く暮らしていきたい」そんな高齢者、障がい者の方の思いに寄り添い、生活上の困りごと（掃除、ゴミ出し、草取り）をボランティアさんが無償でお手伝いしてくれるしくみ。月1回開催中。

中学生、高校生のボランティア参加者に聞いてみた

Q1 どうしてボランティアに参加したのか

Q2 活動の感想 Q3 ボランティアをやって良かった所

かまくら ひかり
記者・絵 鎌倉 光里

松川中学校 三年 堀竹 友依さん

A1 地域のためにできる事を考えたのがボランティアだった。

A2 利用された方にまん足してもらえてよかった。

A3 たくさんの人と仲良くなれて、地域の事が分かる所。

飯田女子高等学校 一年 堀木 沙奈さん

A1 町の人と関わって良いと思ったから。

A2 利用してくれた方と話せて良かった。

A3 たくさんの人と話せて町の事を知れる所。



飯田高校 一年 糸田江 彩さん

A1 地域の人と関わるのが好きだから。

A2 利用してくれた方がよろこんでくれて良かった。

A3 たくさんの方がよろこんでくれる所が良かった所。



光里さんは昨年のボランティアから続けて5回目の活動。中学生になったら横づなへの参加も待ってます!

配食サービス

高齢者、障がい者の方向けにお昼のお弁当をお届け。配達(は)地域のボランティアさんが担当してくださっている。

ひとりぐらしのおばあちゃん に聞いてみた

おの みお

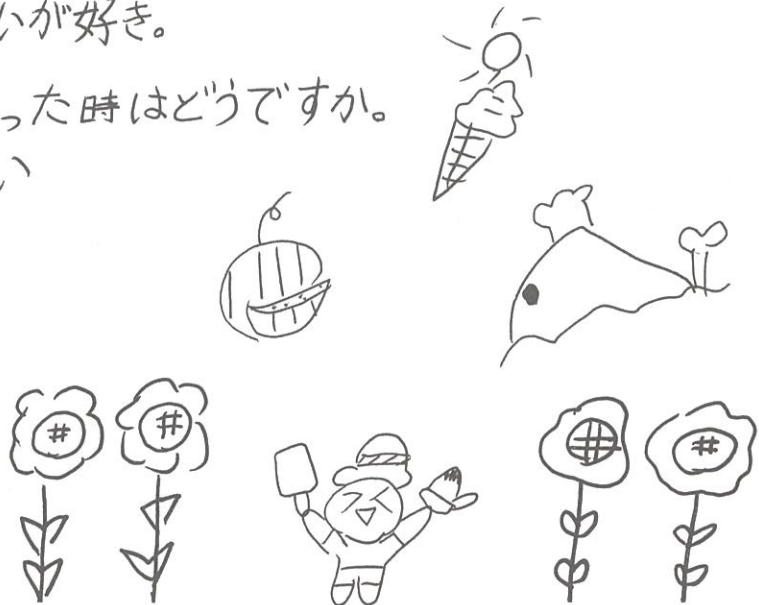
記者・絵 小野未桜

Q お弁当のなんのおかずが好きですか。

A 全部好きだけど、やさいが好き。

Q お弁当をとどけてもらった時はどうですか。

A とっても楽しい、うれしい



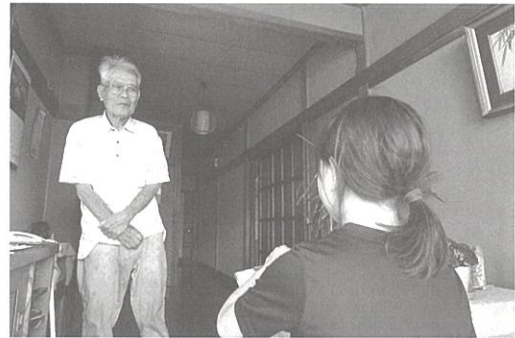
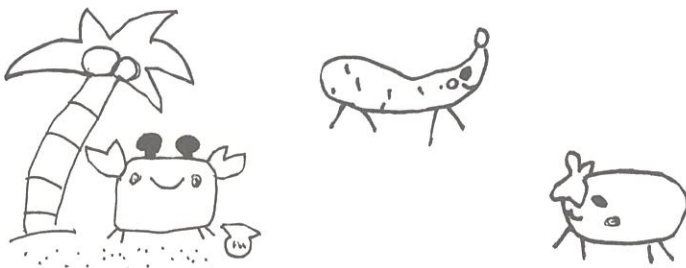
ひとりぐらしのおじいちゃん に聞いてみた

みやざわ さほ

記者・絵 宮澤咲帆

①の問 好きなおかずはなんですか。(お弁当で)
答え 野さいのもの、お魚が好き。

②の問 お弁当をとどけてもらった時、どんな気持ちですか
答え 楽しみにしていた。安心。子どもみたいにうれしい。



おじいちゃん、おばあちゃんにインタビューがしてみたかったと参加してくれた2人。「インタビューするのが緊張した」「字を書くのが難しかった」と感想がありました。お年寄りにも聞こえるように大きな声でインタビュー、きれいな字で記事作りができました。

令和6年度 日帰り希望の旅



「日帰り希望の旅」参加者募集

【松本・塩尻方面】

松川町社会福祉協議会では日帰り希望の旅を開催いたします。看護師や介護職員も同行しますので、安心してご参加ください。

●「日帰り希望の旅」の目的（令和6年度）

日頃、外出機会の少ない介護保険認定者（介護度2以上の方）と、重度身体障がい者（身体障がい者等級2級以上の方）、また、その介護者のために外出機会を設け、交流の輪を広げると共に、心身のリフレッシュを図っていただくことを目的としています。

●日 時 令和6年10月30日（水）

●旅行先 ぶどう狩り・石井味噌・浮世絵博物館

●参加対象者

- ・介護保険認定者で介護度2以上の方と、その介護者
- ・身体障がい者等級2級以上の方と、その介護者

●予定人員 30名

●参加費 1人 2,000円（昼食代・おやつ代）

●日程

※出発当日は、午前8時30分までに松川荘前駐車場にお集まりください。

※集合場所の松川荘前駐車場までの送迎が必要な方は、お申し込みの際にお伝えください。



松川荘前駐車場	＝松川	＝松本	＝浮世絵博物館	＝見学	＝石井味噌	＝昼食・買い物
集合	8:30			着	10:15	着 11:30
発	8:45			発	11:10	発 12:30

＝土田園	＝ぶどう狩り（ナイアガラ）	＝塩尻	＝松川	＝松川荘前駐車場	
	着	13:15		着	15:30頃
	発	14:15			

●お申し込みについて

【申し込み締切】

10月10日（木） ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

【申し込み先】

松川町社会福祉協議会まで、電話でお申し込みください。（電話36-3778 担当 宮下風香）

●その他

※障害者手帳をお持ちの方は、当日必ずご持参ください。

※車中のおやつは多少用意しますが、必要な方は各自ご持参ください。

企画／お問い合わせ先

松川町社会福祉協議会 〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島 2930-12 TEL: 0265-36-3778

旅行企画・実施

(株)アリーナ 〒388-8014 長野県篠ノ井塩崎 6944-1 TEL: 026-299-6200 FAX: 026-299-6201

長野県知事登録旅行業 第2号-468号 国内旅行業務取扱管理者 滝澤功一郎

福祉懇談会 ～災害時の大きな力 災害ボランティア～

令和6年度福祉懇談会を7月17日（水）に上片桐地区、18日（木）・24日（水）に大島地区、25日（木）に生田地区で開催し、福祉推進委員、民生児童委員、松川町社協職員、延べ123名の参加がありました。

台風や豪雨災害による風水害や地震などの災害が発生した場合、被災地では災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮し、被災地の復旧・復興における大きな役割の一つとなっています。一方で被災地では災害ボランティアへの理解、災害ボランティアセンターと地域との連携において課題を抱えている現状があります。

今回の福祉懇談会では災害ボランティアの活動や災害ボランティアセンターの役割を理解していただき、災害時、災害ボランティアの活動を有効に活用し、スムーズな復旧・復興につなげるためどのようなことが必要か意見交換を行いました。

参加者よりいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 被災した不安な気持ちの中には、やはりご近所や顔なじみの方の声かけ等、地域のつながりがやはり大切になると改めて感じました。
- 災害時だけではなく、日頃からコミュニケーションをとれる地域性が必要かと思う。
- 災害が発生してからではなく、災害ボランティアを事前に理解しておくことが必要だと感じた。
- 災害発生時は地域の中に入って、災害ボランティアセンターとの結びつきのお手伝いをしたいと思いました。



会費

ありがとう

おとなのラジオ体操カード

城自治会



松川町社協では今年度も小学生の夏休みに合わせて

”おとなのラジオ体操カード”を作成し、全戸配布しました。”大人みんなが手をつなぎ子どもたちを見守り一緒に育てる地域”を目指して令和元年度から始まった取り組みです。

いつもより涼しくて気持ちの良い朝、城自治会のラジオ体操へ伺いました。大人も子どもも一緒になってラジオ体操第二まで元気良く行います。終わった後は少しお話をされていく様子も。温かい地域のつながりを感じることができました。

おとなのラジオ体操カードを見せていただくと、毎日のようにラジオ体操に参加され、たくさんのスタンプが押されていました。「しっかり使っていますよ」と笑顔でお話していただきました。

ラジオ体操に大人が参加している姿を多く見かけるようになりました。この”おとなのラジオ体操カード”が少しずつ定着しつつあることを嬉しく思います。大人と子どもが顔見知りになり、温かい地域の輪がさらに広がっていくといいですね。



松川町社会福祉協議会 行事予定

※開催については感染症の影響により、中止となる場合がございます。

- ◆いちごサロン 日時／10月16日(水)・11月15日(金)
午前10時15分～午後0時15分
場所／まつかわすたいるプラザ「ぷらっと」
- ◆くらしの相談 日時／10月18日(金)・11月20日(水)
午前9時～正午
場所／松川町中央公民館えみりあ

会費
ありがとう

会費
ありがとう

このマークがついた事業には、社協会費が使われています。いつもご協力ありがとうございます。

令和6年度社協会費の納入 ありがとうございます

社会福祉協議会費納入にあたり町民の皆様はじめ、町内外の会社・事業所など法人の皆様から多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。ご協力いただきました会費は地域福祉活動の財源として大切に使用させていただきます。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。尚、最終集計額は改めてご報告させていただきます。

納入内訳 (R6.7.31現在)		
一般会費	2,744件	2,744,000円
賛助会費	210件	420,000円
特別会費	75件	600,000円
総 額	3,029件	3,764,000円

S・I・C・O・R・N・E・R

ありがとうございます
福祉のために大切に
活用させていただきます

- 匿名様 三〇〇、〇〇〇円
- (故) 関島 里江 様 一〇〇、〇〇〇円
- (故) 宮下 徳男 様 一〇〇、〇〇〇円

赤い羽根募金 助成活動紹介

赤い羽根共同募金は、誰でもできる大きなボランティアです。

皆さまからお寄せいただきました共同募金は、町内の地域福祉を担う団体の活動資金にあてられています。あなたの思いやりの心が、誰かの力になっています。松川町共同募金委員会の審査委員会で配分が決定され、助成金をもとに行った活動をご紹介します。(令和5年度実績)

一人暮らし交流会 90,000円

町内で、一人暮らしをされている高齢者の皆さんが集まり、バス旅行にでかけたり、歓談して楽しいひと時を過ごします。



来る方々に「すみません」と謝ると皆さん温かい言葉をかけてくださり、時には「頑張ってください」と励ましてくださり、とても嬉しい気持ちで最後まで諦めずに上ることができました。東照宮も良かったですが、人の優しさが一番の思い出になりました。

S・I



ちおんば 職員のと
ひとりごと

母と息子と私の三人で日光東照宮へ行ってきました。母は足が悪いのですが、日光東照宮には車イスで行けるスロープがあるとのことでしたので安心して出かけました。が、実際はガタガタ道で普通の車イスで行くのは難しかったため、断念しようかと思ったのですが、せつかくここまで来たのだからと、杖をついてゆっくりゆっくり何とか階段を上っていきました。後ろから続いて来る方々に「すみません」と謝ると皆さん温かい言葉をかけてくださり、時には「頑張ってください」と励ましてくださり、とても嬉しい気持ちで最後まで諦めずに上ることができました。東照宮も良かったですが、人の優しさが一番の思い出になりました。